

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	備考
1	今回の大雨では、区長や各組合長等の連携により、10日くらいでライフラインは回復できたと思う。町長が説明された治山事業、河川改修を含めた治水事業についての考えを聞きたい。	治水事業について、通常の河川改修は幅を広げたり深くしたりするが、広げるためには両側にすでに家があるので、現在の状況では、水路の補強や床止めの設置の検討が整備法では一番ではないか考えている。また現在は土嚢とかでの補強が出来ていない状況だが、測量等後に土嚢等での一時的な補強を考えている。長期的な改良等については、検討していきたい。河川幅を広げるという場合には、水路そばの宅地の方のご協力が必要になるが、現在はまだそこまでの考えにはいたっていない状況。【建設課長】 治山事業については、床止め4基を設置することを考えている。【町長】 水路や道路について、町道は国から補助があるが、水路はそういう補助がないので、計画を立てたり町単独で行うなければならない。当然危険なところは早急にしなければならないが、町単独になるので期間がかかるものもあると考えている。農地災害になる場所もあるので、そういうところは国の支援をつかいながらやっていきたいと考えている。【副町長】	防災・防犯	町長 副町長 建設課長	
2	水路の形が変わってしまっていて、今壊れたところを補強するより、現在基山町の指定河川というものがないが、丸林地区の水路を基山町の指定河川として、出来るかわからないが、災害関連事業として計画的に改修していったほうがよいのではないかと思う。	今言われた通り水路を準用河川ということで災害復旧ということも検討・研究していきたい。【副町長】 先日、県の河川課長と面談したときには、その話をしなかったので、うまくいくかどうかかわからないが、早速明日問い合わせる。また、協議の結果をお知らせする。【町長】	防災・防犯	町長 副町長	
3	国の激甚災害地区に指定されているのか。また、指定されるように努力していただきたい。	まだ、指定されていないが、特別警報がでているこれほど大きい災害なので指定されるのではと考えてる。【副町長】 今回は、ここが指定されてここが指定されないというものではないと考えている。【町長】	防災・防犯	町長 副町長	
4	今回の大雨時に避難される方は集落センターに集まっていたが、やはり高齢者の方がまだ避難されていない方もいた。危険な状況の中で上まで迎えに行って何とか救い出したという状況だった。高齢者の方にいかに避難指示を伝えるかが一番大事だと思う。電話してもなかなか出られなかった。今回災害放送が役場からされたようだが、丸林地区でなかったかどうかかわからなかったので、点検をお願いしたい。 災害放送確認の連絡先はもっと周知徹底をお願いしたい。	点検はすぐやりたい。また、災害放送は放送後24時間以内であれば、電話で確認することができる。連絡先についてはこういう集会の場でも周知していきたいと考えている。【町長】 昨年も確認の連絡先については、周知をしていたが、今後も広報等で周知徹底はしていきたいと考えている。【総務企画課長】 避難勧告を出した段階で丸林地区の方には全戸に電話をしている。何度も電話確認をした方もいる。事前連絡は全戸に今もやっている。【副町長】 危険な地区の方(80戸)には、丸林地区はほとんど入っているが、連絡をしている。それとは別に民生委員から連絡するというシステムはあるが、丸林地区は今回、独自に地域で危険を顧みずやっていただいた。地域の力というのは非常に大事だと思うので、並行してご協力いただきたい。【町長】	防災・防犯	町長 副町長 総務企画課長	
5	住吉さんに新しくかかった橋だが橋の間口が小さいため流土木がみんなつままって、道の方へ水が上がっていったのでは。水門の入り口も流土木がつまってメチャクチャになっている。住吉さんまでの道路を早く復旧してほしい。	丸林地区は一番被害がひどく現在測量をしている。もう少ししたら応急的に上まで上られるような道を作りたいと思う。先ほどの橋につまったというのはあると思うが、その上の方から土石流みたいに滑ってきているので、いろいろな複合的な原因があるのではと思う。その上で今回治山ダムのような方法もあると検討中。【建設課長】 確かに流土木がつままったという事実はある。ただし、橋は必要なのでどのような橋をかけるのか、またどのような対策をとっていくのかは今後検討していきたいと考えている。【副町長】	防災・防犯	副町長 建設課長	
6	住吉宮は祠も鳥居も何も無くなってしまった。あれは直してもらえる可能性はあるのか。	現在、町では神社等には何も行っていない状況(整備等で補助をだしていない。)。災害だからどこまでやれるかどうか町の中でもそこまでの議論が出来ていない。今日この場では、その見解はお答えできないので、町で検討させていただきたい。	防災・防犯	町長	
7	亀の子や鎌浦等の林道を見られたか。木が倒れてしまっている。山の管理も含めて町会議員や町の職員はもう少しみてほしい。	林道については倒木等で通れないが、全路線何回も見回っている。また、災害復旧等で開通を考えている。【建設課長】 倒木については、明確な見解がでていらず非常に難しい問題。町の予算で倒木を全て撤去してよいかというとそう簡単にはいかない。県にも相談しているが基山町所有の山林ですら簡単に撤去できない状況。その当たりもルール作り等一から考えていかないといけないと思っている。【町長】 山林については個人所有の土地なので個人で管理していただくことになるが、干ばつの補助はある。切った木の撤去等いろいろ難しい問題もある。【副町長】	防災・防犯	町長 副町長 建設課長	

No.	質 疑 内 容 等	回 答 な ど	分野	回答者	備考
8	農地がありその横に水路、その上の山が崩れて農地に入ってきているものについて、産業振興課で調査されたようだが、40万円以上のは補助の対象になるとかという話もあり、どこまでは補助があって、どこまでは補助がないのか聞きたい。	7月13日まで受付の農地災害について、農地は市場出荷をしていることが原則。施設(用排水、かんがい排水等)は、幅員が1.2m以上、関係戸数が2戸以上という条件がある。1か所の被害金額が40万円以上。補助率は農地が50%、農業用施設は65%となっている。ただし激甚災害の指定となった場合は、若干の加算があるかもしれないが、そこについては、確定してからということになる。また、民有地の倒木被害といった相談もあるが、住民での話し合いということになる。【産業振興課長】	防災・防犯	産業振興課長	
9	現在、田の半分が水に浸かっているような農地なら早く水を抜けば今年収穫できるし、山の持ち主も迷惑をかけているので早く撤去したいと思っている。たとえば早く工事したいとなった場合は仮に40万以上かかかっていても補助の対象にならないのか。	農林災害について、国から派遣された方が現場を見に来て、その査定を受けなければ補助の対象にはならない。仮に何らかの理由で急いでやると国の査定は厳しくなる。ただし、水を抜くため等の一部だけの工事をし、それ以外を補助対象とするというやり方はできるので、全部する必要があるので一部だけでいいのかが、場所場所判断していくことになる。役場に連絡していただければ、現地確認して一番いい方法を一緒に考えていけると思う。【建設課長】 山が崩れた場合は、自分で撤去してもらわないといけない。補助はない。災害は農地の土手が崩れて40万以上かかった場合で、国の査定を受けたものが国の補助対象になる。時期的には9月か10月に査定、現状はできるだけそのままにしてもらい、1月頃の工事になるのではと思う。【副町長】	防災・防犯	副町長 建設課長	
10	今回の災害で出た泥や流木の捨てるのを町で受けていただいたが、今後も農地に落ちた泥等や倒木等を受けていただけるのか。	現在、町で受け入れているのは、今回の大雨で家の敷地内に入ってきた土砂や倒木等で生活に支障があるということで持って行っていただくということで、農地に入ってきたものは現在もしていない。【副町長】 今回、災害ということでいろいろ動いたが、通常しているものを説明すると、町有地のものをみなさんで協力していただいたものを持っていくということで、民地に入ったものは個人の財産管理ということもあるので、自分で撤去していただくということになる。【建設課長】 今回丸林地区については、宅地内に土砂や隣の宅地から流れてきたものがあり、それについては持って来てもらって大丈夫ですと話をさせていただいている。【副町長】 情報提供になるが、今、稲等の作付をされていると思うが、共済について、今回豪雨災害での被害調査で丸林地区での大きな被害については現地確認をしているとのこと。それ以外の場所については、まだ確認がとれていないとのこと。現在共済の方でも被害状況を確認したいということで、生産組合長さんに被害状況に申告の取りまとめの依頼をされている。提出期限が7月までということを知っている。共済については、3割以上被害があった場所については、現地確認を行った後に共済金の支払いになるとのこと。特に本人から申請してもらうことはないとのこと。【産業振興課長】	防災・防犯	副町長 建設課長 産業振興課長	
11	今回の大雨で上の状況がひどく、今後大雨が降った場合は早く避難しないと聞いているが、どういった避難をしたらよいか戸惑っている。	丸林地区に対しては、しばらくは基山町全体に通常出している避難勧告等より一つ前の段階で連絡する仕組みを作ろうと考えている。その場合は安心・安全のために避難等をお願いしたい。また、足が不自由な方等避難が困難な方に対する連絡網を作成したいと考えている。【町長】	防災・防犯	町長	
12	今回の大雨で私の自宅に土砂が屋根まで来た。また家の裏から水が流れていて、昨日の夕立の際も家の中や町道に流れてきた。町で水路をどうにかしてもらえないか。 また、宅地の中の土砂は自分で撤去しないと聞けないのか。	まずは、現地確認をさせていただきたい。その上で検討させていただければと思う。水路についても現況を現場で確認させていただき、どんな方法があるのかを検討したい。明日でも調整を。【建設課長】	防災・防犯	副町長 建設課長	
13	水路の対策について、東部土木事務所等でもいろいろな案を考えてあるようだが、丸林地区は昔の水路で管もせまい。町道に大きめの水はけのよいヒューム管等を入れて高原川まで持っていかないと、また溢れるのではないかと思う。今後の課題だと思う。	明日またきちんとチェックをし、今後次の雨に向けて最重点として対応させていただければと思う。【町長】 避難警報等については、今年の台風時期を過ぎるまでの間について、通常大雨警報が出た段階では準備室を立ち上げるだけだが、その段階で自主避難所を開けさせていただこうと思う。その時に丸林地区には電話連絡をし、また、別に区長、組合長さんにも連絡をさせていただこうと思う。そのことについては、近日中に区長、組合長さんにご相談をさせていただこうと思う。そういった対応を検討しているところである。【総務企画課長】	防災・防犯	町長 総務企画課長	
14	基肄城が特別史跡に指定されていると思うが、佐賀県知事等に吉野ヶ里遺跡のように国が整備してもらえないか要望してほしい。	現在も毎年要望している。いろいろな場や文化庁関係にも要望しているが、福岡県との関係や予算の関係等でなかなか難しい状況。今後も要望していく。【町長】	文化財	町長	